

新入社員に贈る言葉

失敗を恐れず挑戦し、学び続け、 クラブハウグループの未来を ともにつくろう！

4月1日に行われた入社式で、
西垣社長から新入社員に贈られたメッセージを紹介します。



チャレンジ精神は クラブハウの大切な遺伝子

大阪の街にも桜が咲き始め、
朝夕にはまだ花冷えを感じるもの、
日中のやわらかな日差しに春の息吹を感じる季節となりました。

本日ここに、入社式を挙行之、
15人の皆さんを新たな仲間として迎えることができ、大変うれしく思います。

新入社員の皆さん、あらためまして、入社おめでとうございます。

当社は、1888（明治21）年、現在の岡山県倉敷市に誕生しました。当時、疲弊していた倉敷に新たな産業として紡績事業を興そうと志した3人の青年が描いた明るい未来図に、当社初代社長大原孝四郎が感銘を受け、支援したことが創業の出発点です。こうして「有限責任倉敷紡績所」が創設され、今年3月で138周年を迎えました。

繊維事業を祖業として始まった当社は、その後、明治、大正、昭和、平成、令和と時代の移り変わりとともに、化成品、環境メカトロニクス、食品・サービス、不動産活用へと事業領域を広げ、業容を拡大してまいりました。

また、日本で最初の私立の西洋美術館である大原美術館や、労働面での課題解決に取り組む大原記念労働科学研究所、そして従業員だけでなく、地域にも開放された医療機関である倉敷中央病院の設立など、社会貢献と人材育成にも力を尽くしてきました。これらは、創業以来130年以上にわたり、持続的な成長を目指し、現在のサステナブル経営にも通じるさまざまな企業活動を実践してきた当社グループの歩みを物語っています。

こうした取り組みに共通する「新たなことへのチャレンジ精神」は、初代社長・大原孝四郎が残した「やる可し、大いにやる可し」という言葉に象徴されています。この精神こそが、創業以来、従業員一人一人によって受け継がれてきた、クラブハウの大切な遺伝子です。

本日から始まる2026年度は、昨年度からスタートした中期経営計画「Accelerate'27（アクセラ）」の2年目になります。

基本方針である「高収益事業の成長加速と経営資源の効率的な活用による企業価値の向上」のもと、中期経営計画の呼称「アクセラ」という言葉に込めた「加速」を成果につなげる年であり、当社グループが2019年に策定した「長期ビジョン2030」で目指す「イノベーション」と高収益を生み出す強い企業グループの実現に向けた、非常に重要な1年になります。

現在、私たちを取り巻く世界情勢をみると、ロシア・ウクライナ戦争や、イランをはじめとする中東地域の不安定化など、立て続けに発生する地政学的リスクが、景気の下振れ要因となつていきます。

また、当社グループを取り巻く経営環境も不確実性が高く、先行きを見通すことが容易ではありません。同時にAIやデジタル技術の急速な進化や価値観の多様化など、事業環境はこれまで以上に複雑さを増しています。

しかし、こうした環境の変化は決して「逆風」だけではありません。変化の中にこそ新たな



▲ 松下さん（財經部経理課）が今後の成長を誓った

成長の芽があり、それに挑戦する企業には次のステージが拓かれるものと考えています。

環境の変化を言い訳にせず、目標達成のために変化を前提とし、変化を味方につける。この姿勢こそが、今を生きる私たちに求められています。皆さんには「今までのやり方にとらわれない、創造性に溢れる新たな発想」で、積極的に業務に取り組んでいただくことを期待しています。

社長として 大切にしていること

ここで、私が社長として経営において重要であること、大切にしていることを三点お伝えいたします。

安心・安全な職場環境

一つ目は、「安心・安全な職場環境の整備」です。当社グループで働くすべての従業員の皆さん、そしてサプライチェーンに関わるパートナー企業の皆さん一人一人の安全、心身の健康、そして幸福の実現は、企業としての根幹であり、当社の存在価値そのものだと考えています。

コンプライアンスの徹底

二つ目は、「コンプライアンスへの万全な対応」です。ひとたび、コンプライアンスに関わる重大な不祥事が起これば、当社が138年かけて築いてきた歴史と信頼は、一瞬で失われ、同時にお客さま、そして当社を支えてくださるサプライチェー

ンのパートナー企業の皆さまにも、多大なご迷惑と損害を及ぼす結果となることを、決して忘れてはなりません。

サプライチェーンとの 信頼関係

三つ目は、「取引先を含むサプライチェーンの皆さまとの信頼関係の構築・強化」です。現在の、複雑で変化の激しい、厳しい事業環境の下では、当社単独で全ての物事を進めていくのは困難です。持続的にWIN-WINの関係が成立するパートナーとの信頼の絆こそが、事業の推進力となります。

新入社員の皆さんへの お願い

また、皆さんにお願いしたいことも三点あります。

情熱と チャレンジ精神を 発揮し、 仕事を面白がる

一つ目は、当社のDNAである「情熱とチャレンジ精神」を発揮することです。

当社の最も重要な経営資源は「人」、すなわち皆さんです。

企業である限り数値目標は重要ですが、数字に縛られるのではなく、自ら考え、判断し、目標に向かって主体的に行動すること、仕事はもともと面白くなり、皆さんの真価が発揮されます。

改革のヒントは現場にある 勇気ある改革、先駆者に

二つ目は、「勇気ある改革者、先駆者」になることです。

改革のヒントは、必ず現場にあります。ネットや伝聞に頼りすぎず、自ら現場に足を運び、事実をつかむことが的確な判断につながります。新型コロナウイルス以降、テレワークが普及し、会議や商談の多くがオンライン化するなど働き方が変わりましたが、この本質は変わりません。皆さんの「勇気ある改革」、「人」に先駆けて行う姿勢を、私は全面的にサポートします。

仲間を増やし、同じ目標に 向かって力を合わせる

三つ目は、「社内外の仲間を増やす」ことです。

新たな事業を育て、当社を発展させていくうえで、信頼で結ばれ、目標を共有できる仲間づくりは不可欠です。信頼に基づくチームが同じ目標に向かって力を合わせたとき、最大の力が発揮され、想定を超える成果が生まれます。当社の社は「同心戮力」を皆さんと共有し、ともに実践していきたいと思えます。

失敗を恐れず挑戦し 学び続けて成長を

今日は皆さんにとって、社会人としての第一歩を踏み出すと同時に、同期という仲間を得た日でもあります。今日から始まる約2カ月にわたる導入教育・工場実習などを通じて、クラブウを発展させる同志として、お互いに切磋琢磨しながら絆を深めてください。皆さんの若い力と柔軟な発想こそが、これからの当社グループを支える原動力です。

これから壁にぶつかることもあるでしょうが失敗を恐れず挑戦し、学び続ける姿勢を大切にしながら、大きく成長してください。

さい。仲間を大切にし、自分らしさを忘れず、当社グループの未来をともにつくっていくことを期待し、私の訓示といたします。（文責在記者）

.....

クラブウの各事業所でも入社式が行われました。

大阪本社

大阪本社では、合戸さんが入社した。少し緊張した様子もあったが、入社式では元氣よくこれからの活躍を誓ってくれた。初めての社会人生活は、覚えることも多く困惑することもあると思うが、会社としても全力でサポートし、一緒に成長していつてもらいたい。



▲入社おめでとうございます

寝屋川工場

久保さん、北さん、上田さんの3人が入社した。3人とも社会人1日目ということもあり緊張した様子だったが、入社式では堂々とした姿をみせてくれた。山本工場長からの訓示では「安全第一」「目標を持つこと」「部署の同僚としつかりコミュニケーションをとること」の3点を大切にしてほしいとのメッセージが贈られた。

同期3人でチカラを合わせて、寝屋川工場に新しい風を吹かせてほしい。



▲工場と一緒に盛り上げましょう！

裾野工場

裾野工場では、今年2人の新入社員、小山田さん、深川さんが入社した。

入社式では、諏訪原工場長から新入社員に向けて「安全を第一に行動すること、健康管理に努め、毎日元氣に出勤すること」を考えて生活すること、素直さを持ち、上司・先輩から多くのことを学び取ってほしい」との言葉を述べられた。結びには、「裾野工場の発展に思う存分力を発揮してくれることを期待する」と激励いただいた。

2026年度も新たな若い力とともに目標達成に向け、進んでいく。



▲入社おめでとう。一緒にがんばろう

三重工場

前日からの雨も上がり、暖かさも感じられた3月23日、入社式を行った。今年入社したのは、古泉さん、田端さんの2人。それぞれ総務課、製造課に配属される。

茜工場長からは「安全最優先・何事にも興味を持って取り組む・コミュニケーション」の三つを大切にしてほしいというメッセージが贈られた。

緊張感につつまれながらも一人前を目指して頑張ることを誓ってくれた2人。何もかもが初めての経験になると思うが、安全と健康第一で、前向きに楽しみながら社会人生活を送ってもらいたい。

これから一緒に三重工場を盛り上げていこう。



▲ 左から古泉さん、田端さん

熊本イノベーションセンター

3月23日入社式を執り行い、淵上さん、松石さんの2人が新たに仲間に加わった。

入社式では佐野センター長より「失敗を恐れず、学びながら、一歩踏み出すチャレンジを大切にしてほしい」という激励の言葉が贈られた。

入社後は、導入教育および現場実習に取り組み、その後、2人とも営業部署へ配属となる予定である。さまざまな経験を積み重ねながら、少しずつ社会人としての生活や業務に慣れていくしてほしい。そして何よりも安全第一。事故なく、ケガなく日々を過ごすことを願う。



▲ 入社おめでとうございます

徳島工場

野村さんが入社した。少し緊張した面持ちで入社式に臨んだ。導入教育では、安全・会社の制度や各課の業務内容など、今まで触れることが無かった内容ではあるが、理解を深められたようだ。

初めての作業や交替勤務など、戸惑うことも多いと思うが、まずはコミュニケーションを大事にしていってほしい。

これからのクラブハウスの社会人生活を有意義なものにするために、目標を立て安全第一に着実に歩んでいくてくれることを願う。



▲ 安全第一に、活躍を期待します！

10人の気持ちが
100人の笑顔に。

清掃活動参加者10人ごとに
L∞PLUSタオルハンカチを
100枚寄贈します。

2025年1月～
2026年3月の
参加者は
累計 970人

寄贈枚数は
9700枚
となりました！

来月もご協力
お願いします！

10-100プロジェクト
10-100プロジェクト実行委員会
(人事部・総務部・営業総務開発部)